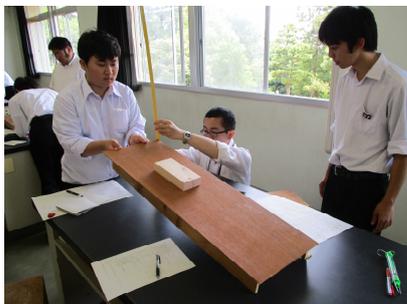


## 6月9日（金）～10日（土）自然科学部実験観察会

6月9日(金)～10日(土)の2日間に渡り、島根県高文連自然科学部門実験観察会が松江北高校、青少年自然の家サン・レイク、および宍道湖自然館ゴビウスで行われました。本校自然科学部員のうち、2年生2名、1年生3名の5名が参加しました。当日は、県下各校から約80名の自然科学系の部活動の部員が集まり研修や交流を深めました。初日は、物理・化学・生物の3つのグループに分かれて、特別講師の先生方から実験観察研修を受けました。化学グループは「捜査で用いる化学反応」として、血痕の検知などの実験、生物グループは、魚の視覚機能についての観察実験、物理グループは運動における摩擦について実験を行いました。夕食後の研修では、島根大学の岩本先生を中心に、「現象数理学との出会い～研究者になるということ～」と題した講義がありました。粘菌の動きの観察や、実際の植物からフィボナッチ数を探してみるなどのグループ活動もありました。また、先生の経験から研究者になるために挑戦することや困難なことなどのお話をいただきました。10日(土)は、宍道湖自然館ゴビウスにて、宍道湖や中海にすむ生物について観察しました。また、宍道湖や中海の特徴や生物の生態などについての講義が行われました。秋に行われる研究発表会に向けて充実した2日間になりました。



生物の実験



物理の実験



化学の実験



講演会



講演会（グループ活動）



ゴビウスでの研修